

KYOTO Design Lab と CHANEL による展覧会

STEP IN CHANEL -わたしがシャネルと出会ったら、

-京都工芸繊維大学の学生たちと CHANEL がコラボレーション。

「はじめての CHANEL との出会い」をテーマに新しい CHANEL の体験を形にしました。



デザインとエンジニアリングの実践的教育の場である京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab と CHANEL は、2019 年 6 月 22 日（土）より、銀座の CHANEL NEXUS HALL を会場に、展覧会「STEP IN CHANEL -わたしがシャネルと出会ったら、」を開催します。学生たちと世界的ファッションブランドとの共創から生まれる新たな体験にご期待ください。

本展の背景

京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab（以下 D-lab）は、INNOVATION BY DESIGN をテーマとした、異分野の融合による新しい社会像の提案を目指して活動してきました。CHANEL 日本法人リシャール・コラス社長（当時、現会長）がこの D-lab の取り組みについて知り、協働を呼びかけたことがこのプロジェクトの始まりでした。

プロジェクトへの学内公募に応じた学生たちにとっては、CHANEL は世界的なブランドとして憧れの対象であると同時に、どこか格式が高く、手の届きにくい存在でもありました。こうした若い世代の新鮮な目を見たときに CHANEL にはどのような新たな可能性があるのか、そして CHANEL というブランドへの初めての出会いはどのようにデザインできるのか。ここから今回の展示のコンセプトである「出会い」というキーワードが生まれてきたのです。

本展の内容

学生たちは、今回の展覧会に向けて 2018 年 6 月から銀座のブティックを見学したり、CHANEL のスピリットについて学んだりしてきました。その中で、CHANEL が創造しているのは単なる美しい服飾や宝飾ではなく、素晴らしい体験なのだと知ったのです。そして、この「体験の創造」と本展覧会のコンセプトである「出会い」を軸として、“STEP IN CHANEL”というタイトルができました。CHANEL の世界に入って自分自身を見つめ直しながら変化を感じることで CHANEL の本質を体験し (CHANEL Spaces of Transformation)、その先には本質から形になった CHANEL のプロダクトから見える世界をフィジカルとデジタルの融合によって表現する (SHADOW CHANEL)1つの空間が生まれました。

この展覧会には学生たちが初めて CHANEL と出会った時の等身大の気持ちが込められています。これをきっかけとして、年齢や性別、国籍などにかかわらず、訪れた全ての方がそれぞれの CHANEL と出会ったときの気持ちを体感してもらえたらと考えています。

展示概要

展示名称：STEP IN CHANEL -わたしがシャネルと出会ったら、
会場：CHANEL NEXUS HALL
(東京都中央区銀座 3-5-3 シャネル銀座ビルディング 4 階)
会期：2019 年 6 月 22 日 (土)~7 月 4 日 (木) 12:00~19:30
主催：シャネル合同会社
企画：シャネル合同会社、京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab
制作：「CHANEL Spaces of Transformation」 マリン・ゾレア 内山琢海 北方誉之
「SHADOW CHANEL」 岡野颯 松阪紀香 大和涼葉
会場構成：新井晴子 横瀬健斗
広報デザイン：大田彩香 金子かよ 久木茉優子
ヴィジュアル：中野幹太 宮本結以
プロデュース：リシャール・コラス
ディレクション：安藤信裕 遠藤真由 奥村知恵 トマ・アントニエッティ (以上シャネル合同会社)
赤松加寿江 岩本馨 岡田栄造 小野芳朗 (以上京都工芸繊維大学)
協力：おうちおさむ

本件に関するお問い合わせ先

京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

MAil. info@d-lab.kit.ac.jp

Tel. 075-724-7283

Fax. 075-724-7250

参考画像



「CHANEL Spaces of Transformation」



「SHADOW CHANEL」